

# 強風被害を受けたスナップエンドウの11月中旬までのまき直しによる収量目安

10月下旬から11月中旬にまき直すことで、商品収量は10月上旬播種に対して6～8割を確保

## 背景・目的

- ・10～11月の生育初期の台風被災は、欠株や欠損による大幅な減収の懸念
- ・強風被害後の対策として「まき直し」を実施する場合の播種期別の収量目安が必要

## 成果の内容

○播種期別の開花揃期、収穫期、収量の目安が明確化

- ・10月上旬播種 : 収穫開始が12月上旬  
(慣行)
- ・10月下旬播種 : 収穫開始が1月上旬  
商品収量は10月上旬播種の7～8割を確保
- ・11月上旬播種 : 収穫開始が1月下旬  
商品収量は10月上旬播種の6～7割を確保
- ・11月中旬播種 : 収穫開始が2月中旬以降  
商品収量は10月上旬播種の概ね6割を確保

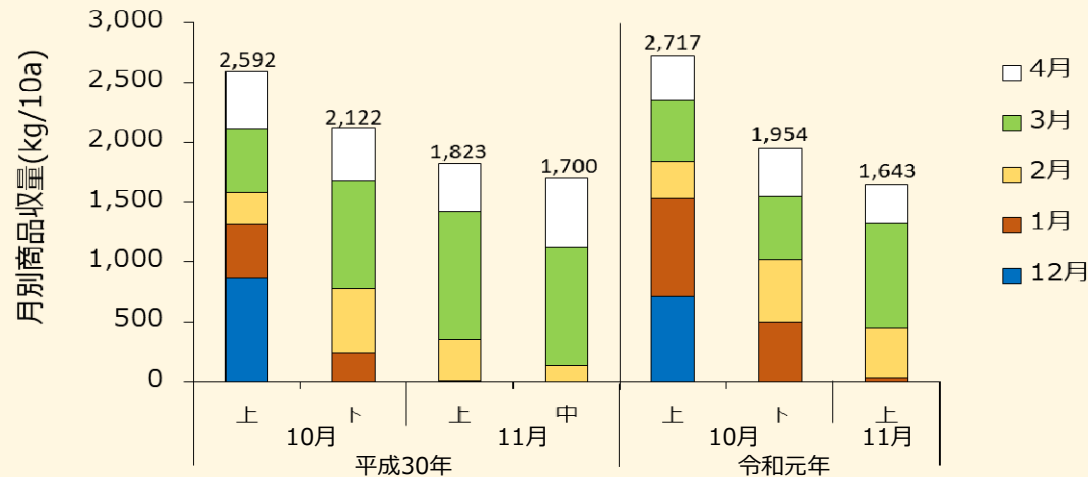
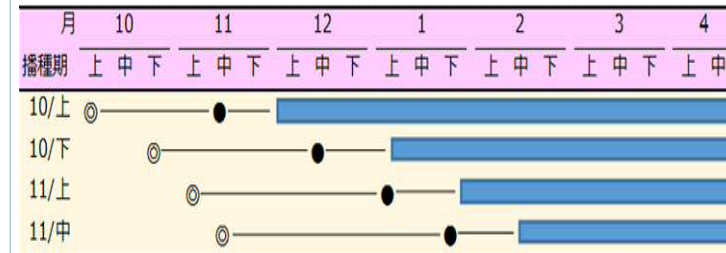


図1 播種期毎の月別商品収量

## 期待される効果

- ・播種期別の開花揃期、収穫期、収量の目安が明確となり、まき直しの判断が可能



注) ○: 播種, ●: 開花揃期, ■: 収穫期

- ・強風等で欠株等被害を受けた場合にまき直すことで、収量や収益を確保
- ・出荷量の予測、出荷先への情報提供

○普及対象・範囲  
無霜・準無霜地帯のスナップエンドウ生産者

鹿児島県農業開発総合センター  
熊毛支場園芸研究室